



# 兵庫県の金融経済の特徴

日本銀行 神戸支店  
2023年3月

・本稿の内容について、商用目的で転載・複製を行う場合は、予め日本銀行神戸支店までご相談ください。また、転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。

【照会先】日本銀行神戸支店営業課（TEL:078-334-1123）

# 目次

## I. 概況

(1) 面積、地域構成	2
(2) 人口構成	3
(3) 県内総生産	4
(4) 事業所数および従業者数	5
(5) 産業構造等	6
(6) 輸出入	7
(7) 県内企業の業況	8

## II. 産業

(1-1) 製造業の概要	9
(1-2) 同・業種別	
①はん用・生産用・業務用機械器具製造業	11
②食料品・飲料等製造業	12
③電気機械等製造業	13
④化学工業	14
⑤鉄鋼業	15
⑥輸送用機械器具製造業	16

## II. 産業（続き）

(2) 商業等	
①商業	17
②観光	18
(3) 地場産業	19

## III. 金融

(1) 地元銀行・信用金庫の歴史	20
(2) 金融機関店舗数	21
(3) 預貯金・貸出金シェア	22
(4) 預金・貸出金動向	23
(5) 貸出約定平均金利	24

# I. 概況

## (1) 面積、地域構成

- 兵庫県の面積は8,400km<sup>2</sup>と、国土の2.2%、47都道府県中12番目の面積。
- 29市12町で構成されており、10地域に分類される。

### ▽兵庫県の地域構成



地域名	市町名
神戸	神戸市
阪神南	尼崎市、西宮市、芦屋市
阪神北	伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町
東播磨	明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町
北播磨	西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町
中播磨	姫路市、神河町、市川町、福崎町
西播磨	相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町
但馬	豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町
丹波	丹波篠山市、丹波市
淡路	洲本市、南あわじ市、淡路市

## (2) 人口構成

- 兵庫県の人口（2022年4月時点、以下同じ）は、約540万人（47都道府県中7番目）。
  - 政令指定都市の神戸市の人口は、約151万人であり、兵庫県の人口の3割弱を占める。
  - 中核市には姫路市、西宮市、尼崎市、明石市が、施行時特例市には加古川市、宝塚市が指定されている。
  - 神戸市を含め7市が人口20万人以上。全人口の約7割が瀬戸内海沿岸に集中。

## ▽兵庫県と県内主要都市の人口

(千人)

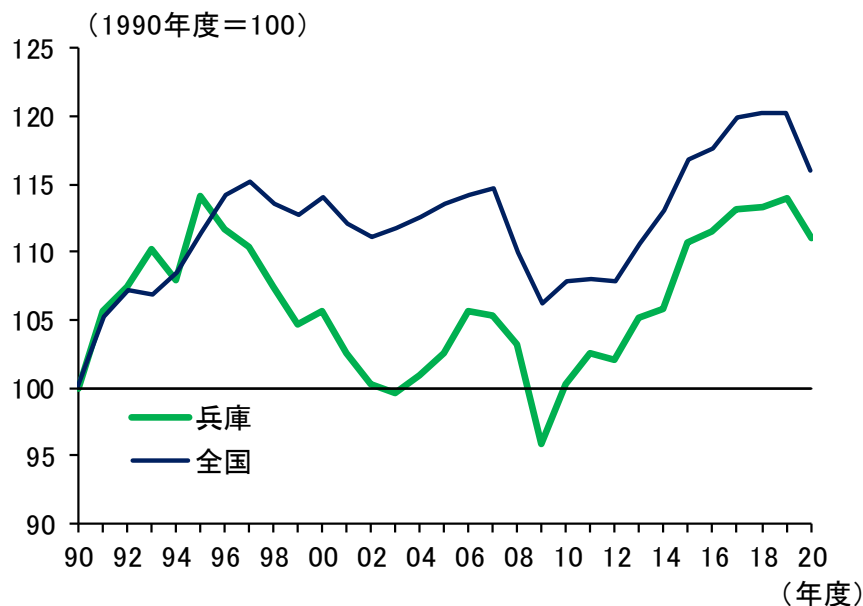
	震災前	震災後	B-A	22/4月(C)	C-A	C-B
	95/1月(A)	95/10月(B)				
兵庫県	5,526	5,401	▲ 124	5,406	▲ 119	4
神戸市	1,520	1,423	▲ 96	1,508	▲ 11	85
姫路市	523	527	4	525	2	▲ 2
西宮市	424	390	▲ 33	483	59	93
尼崎市	492	488	▲ 4	455	▲ 36	▲ 32
明石市	283	287	3	304	20	16
加古川市	252	260	7	258	5	▲ 2
宝塚市	206	202	▲ 4	224	17	21

(注)各月の1日時点。  
 (資料)兵庫県「推計人口」

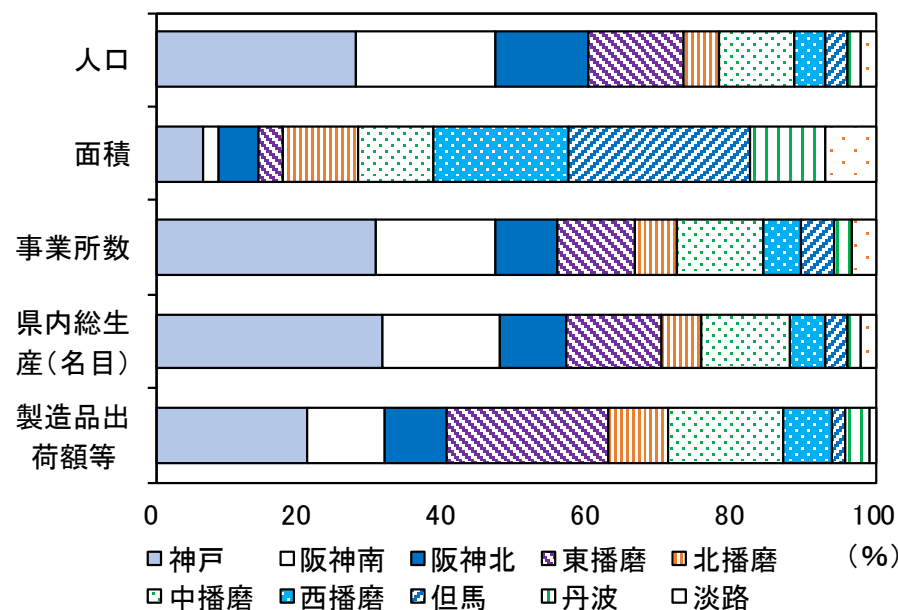
## (3) 県内総生産

- 2020年度の県内総生産（名目ベース）は21.7兆円であり、全国シェアは4.0%。県内総生産の推移をみると、リーマンショック以降は増加傾向が続いていたものの、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、全国同様、減少に転じている。
- 兵庫県の面積の2割に満たない、神戸、阪神南、阪神北、東播磨の4地域に、人口や事業所の約7割が集中し、県内総生産や製造品出荷額等のウエイトもその4地域（いわゆる「阪神工業地帯・播磨臨海工業地帯」）に集中。

▽県内総生産（名目ベース）推移



▽主要指標の地域別構成比



(注)2010年度までは2011年基準、2011年度以降は2015年基準で接続。このため、2011年度以降はベースが異なる点に留意の要。

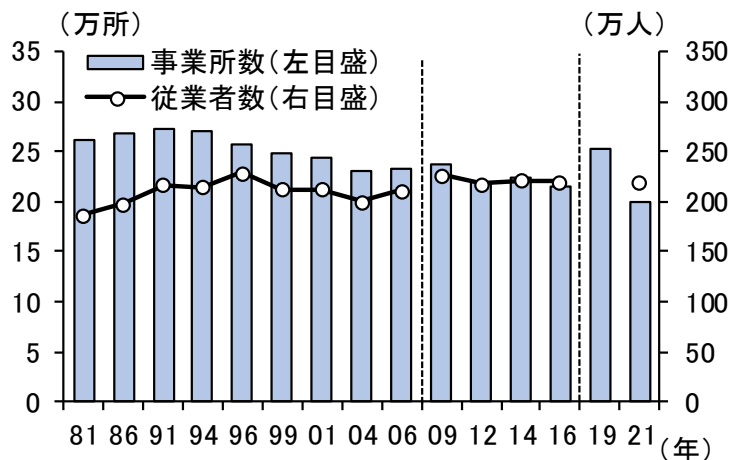
(資料)兵庫県「兵庫県民経済計算」

(資料)兵庫県「令和4年推計人口」、国土地理院「令和4年全国都道府県市町村別面積調(1月1日時点)」、兵庫県「令和3年経済センサス-活動調査に関する結果報告(速報)」、兵庫県「令和元年度市町民経済計算」、兵庫県「2020年工業統計調査結果(確報)」

(4) 事業所数および従業者数

- 県内の事業所数は、1990年代以降、減少傾向。この間、県内の従業者数は概ね横這い。  
 —— 全国シェアは、いずれも約4%（47都道府県中、事業所数は8番目、従業者数は7番目）。
- 県内の工場立地件数は、全国上位で推移。

▽県内の事業所数および従業者数（全民営事業所）



事業所数(2021年)

順位	都道府県	事業所数 (所)	全国シェア (%)
1位	東京都	804,332	13.7
2位	大阪府	472,141	8.1
3位	神奈川県	339,855	5.8
4位	愛知県	339,199	5.8
5位	埼玉県	263,140	4.5
6位	福岡県	241,367	4.1
7位	北海道	240,581	4.1
8位	兵庫県	233,220	4.0
9位	千葉県	210,230	3.6
10位	静岡県	173,860	3.0

従業者数(2021年)

順位	都道府県	従業者数 (千人)	全国シェア (%)
1位	東京都	9,433	16.4
2位	大阪府	4,491	7.8
3位	愛知県	3,832	6.7
4位	神奈川県	3,481	6.1
5位	埼玉県	2,574	4.5
6位	福岡県	2,295	4.0
7位	兵庫県	2,195	3.8
8位	北海道	2,153	3.7
9位	千葉県	2,121	3.7
10位	静岡県	1,720	3.0

(注)2019年以降は、「新規把握事業所」の集計方法が、幅広に事業所を捉えるよう変更されたため、前回調査との連続性がない。

(資料)1991年までは兵庫県「兵庫県統計書」、1994年は総務省「事業所名簿整備調査」、1996年から2006年までは同「事業所・企業統計調査」、2009年からは同「経済センサス」

▽都道府県別にみた工場立地件数

順位	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
1位	兵庫 56	静岡 67	茨城 57	茨城 77	茨城 84	静岡 74	静岡 97	愛知 82	愛知 80	茨城 65	愛知 60
2位	愛知 43	兵庫 65	兵庫 51	群馬 61	兵庫 73	愛知 67	群馬 62	茨城 69	静岡 78	愛知 60	茨城 51
3位	静岡 37	群馬 60	静岡 50	静岡 53	群馬 57	群馬 56	兵庫 59	群馬 69	茨城 66	静岡 54	岐阜 50
4位	岐阜 36	愛知 51	群馬 48	愛知 47	静岡 55	兵庫 56	愛知 51	静岡 67	群馬 59	群馬 52	静岡 49
5位	埼玉 36	栃木 45	愛知 46	兵庫 47	愛知 52	宮城 48	茨城 46	兵庫 56	岐阜 53	岐阜 46	群馬 49
6位	新潟 35	埼玉 40	福島 39	埼玉 47	埼玉 41	茨城 44	福岡 40	福岡 43	兵庫 48	兵庫 39	兵庫 48

(注)工場又は研究所を建設する目的をもって、1,000㎡以上の用地を取得した製造業、ガス業、熱供給業、電気業の事業者が対象。同じ件数の場合は、敷地面積の大きい順。

(資料)経済産業省「工場立地動向調査」

## (5) 産業構造等

- 兵庫県の産業構造のウエイト（県内総生産額ベース）をみると、県内総生産に占める製造業のウエイトは、全国よりも高い。

### ▽産業構造の変化

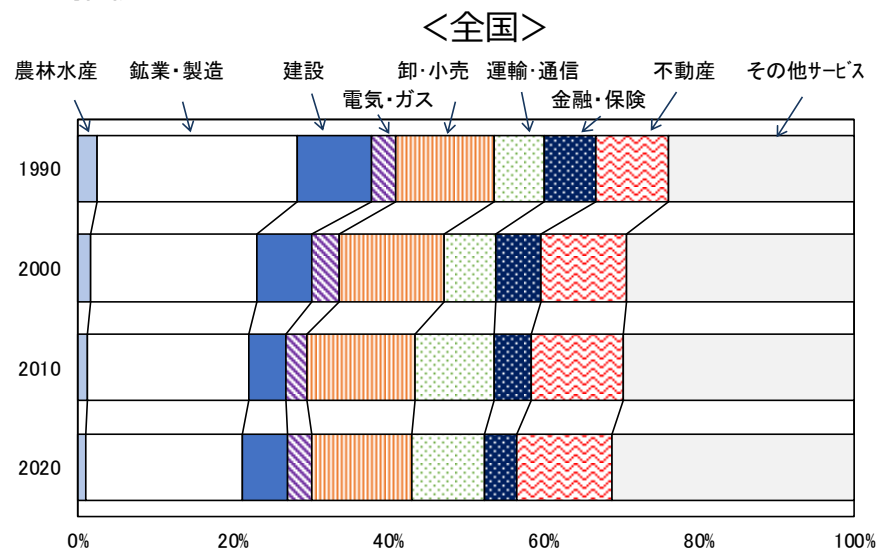
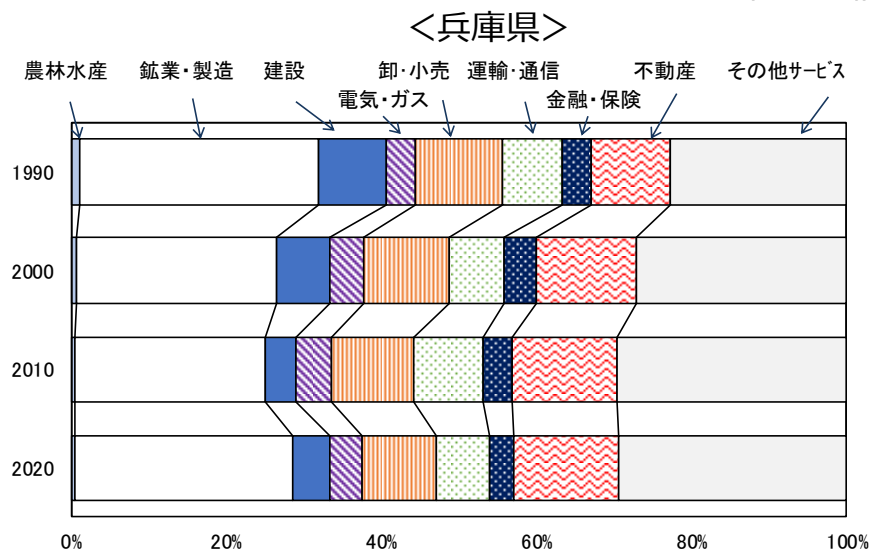
(構成比、%)

年	1990	全国	2000	2010	2020	全国
	第一次産業	1.0	2.4	0.6	0.5	0.4
第二次産業	39.8	35.4	32.7	28.6	32.9	25.9
第三次産業	59.3	62.2	66.6	71.0	66.7	73.1

(注) 兵庫県は年度、全国は暦年。計数について、1990年、2000年は2000年基準、2010年は2011年基準、2020年は2015年基準。

(資料) 内閣府「国民経済計算」、兵庫県「兵庫県民経済計算」

### ▽総生産構成比の推移



(注) 兵庫県は年度、全国は暦年。計数について、1990年、2000年は2000年基準、2010年は2011年基準、2020年は2015年基準。

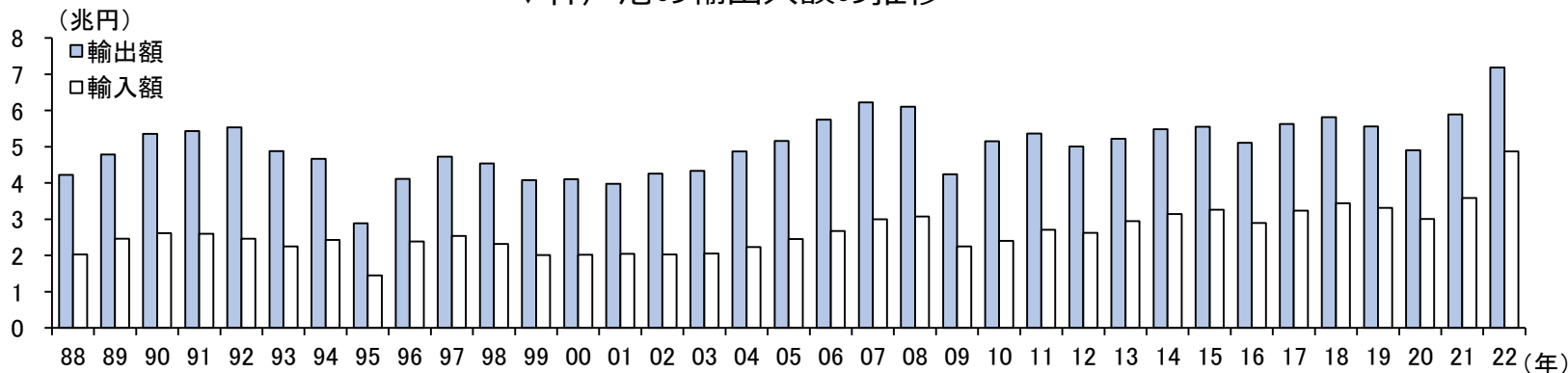
(資料) 内閣府「国民経済計算」、兵庫県「兵庫県民経済計算」

(6) 輸出入

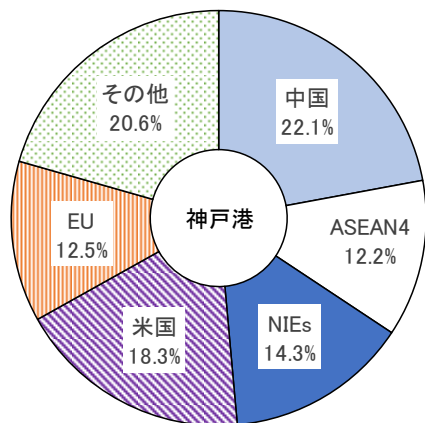
➤ 神戸港の輸出額は、2009年にリーマンショック後の景気悪化の影響から、2007年比7割の水準まで減少。その後、2018年までは緩やかに回復したものの、2019年から2020年にかけては、米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染症の影響から減少。もっとも、2021年以降は、海外経済の回復を受けて増加に転じ、2022年は既往ピークを更新した。

—— 当地の輸出の相手先は、全国と比べて、中国やASEAN4、EUのウエイトが高い。

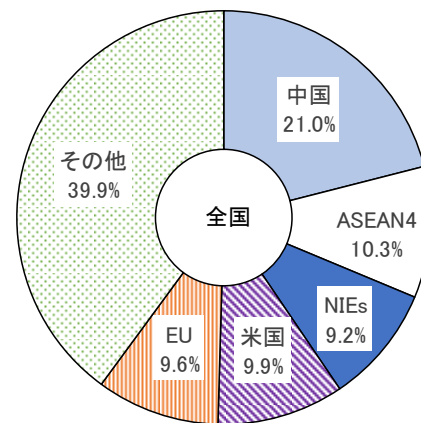
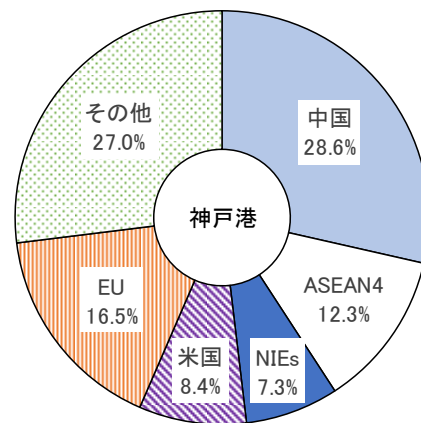
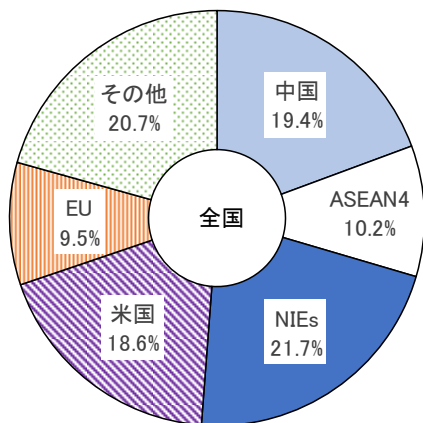
▽神戸港の輸出入額の推移



▽輸出額の相手先別ウエイト (2022年)



▽輸入額の相手先別ウエイト (2022年)



(注1) ASEAN4は、タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン。NIEsは、韓国、台湾、香港、シンガポール。

(注2) 2022年12月の輸入額は速報値。

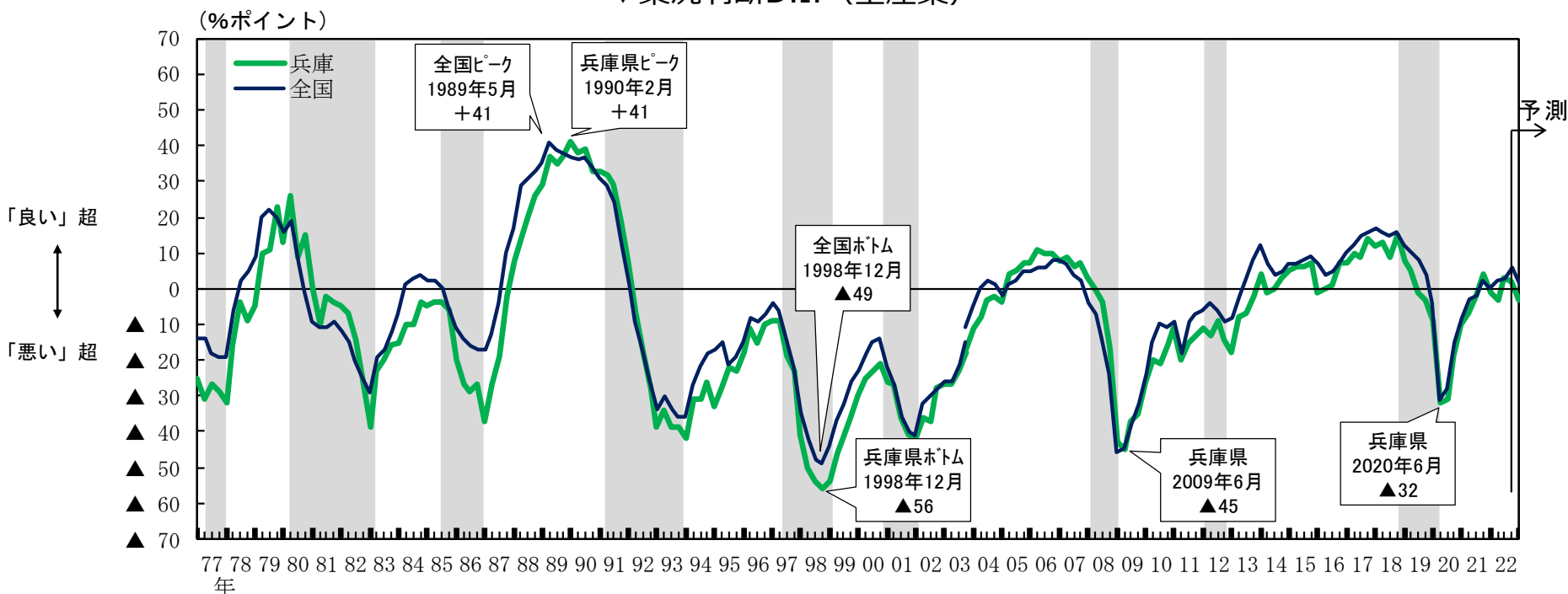
(資料) 神戸税関「神戸港貿易概況」、財務省「貿易統計」



## (7) 県内企業の業況

- 県内企業の業況判断D.I.は、1990年2月調査（+41）をピークに「良い」超幅の縮小傾向が続き、1992年5月調査で「悪い」超に転じた。その後は、1998年12月調査（▲56）をボトムに、振れを伴いつつも改善傾向が続き、2005年6月調査で「良い」超に転じた。
- もっとも、リーマンショック後の景気悪化により、2009年6月調査では▲45まで「悪い」超幅が拡大。その後、改善傾向が続いたものの、2019年以降は、米中貿易摩擦の影響や新型コロナウイルス感染症の影響から、▲32まで「悪い」超幅が拡大。その後は、外需の回復等を受けて「悪い」超幅の縮小が続き、2022年9月調査で「良い」超に転化した。

▽業況判断D.I.（全産業）



(注) 1. シャドローは、全国の景気後退期(内閣府調べ)。

2. 2004年3月調査より調査対象企業等の見直しを行なったことから、2003年12月調査以前と2004年3月以降の計数は連続しない(2003年12月調査については、新ベースによる再集計結果を併記)。

(資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」、日本銀行神戸支店「全国企業短期経済観測調査——兵庫県——」

## Ⅱ. 産業

### (1-1) 製造業の概要

- 製造品出荷額等の構成比をみると、1980年に18.7%を占めた「鉄鋼業」は、2000年には一時8.1%にまで低下したが、2020年には11.0%まで上昇。この間、1980年時点で3位の「一般機械器具」、4位の「電気機械器具」、5位の「化学工業」は構成比が上昇。

#### ▽製造品出荷額等の構成比の推移（上位5業種）

（単位：億円、%）

順位	1980年			1990年			2000年			2010年			2020年		
	産業中分類	製造品出荷額等	構成比	産業中分類	製造品出荷額等	構成比	産業中分類	製造品出荷額等	構成比	産業中分類	製造品出荷額等	構成比	産業中分類	製造品出荷額等	構成比
	総数	111,056	100.0	総数	154,242	100.0	総数	140,699	100.0	総数	141,837	100.0	総数	152,498	100.0
1	鉄鋼業	20,740	18.7	一般機械器具	23,356	15.1	電気機械器具	31,282	22.2	電気機械器具、 情報通信機械器具、 電子部品・デバイス・ 電子回路	25,607	18.1	はん用機械器具、 生産用機械器具、 業務用機械器具	26,751	17.5
2	食料品	17,588	15.8	電気機械器具	22,339	14.5	一般機械器具	21,672	15.4	はん用機械器具、 生産用機械器具、 業務用機械器具	23,539	16.6	食料品、飲料・ たばこ・飼料	21,707	14.2
3	一般機械器具	13,915	12.5	食料品、飲料・ たばこ・飼料	21,445	13.9	食料品、飲料・ たばこ・飼料	19,561	13.9	食料品、飲料・ たばこ・飼料	18,452	13.0	電気機械器具、 情報通信機械器具、 電子部品・デバイス・ 電子回路	20,817	13.7
4	電気機械器具	9,725	8.8	鉄鋼業	17,083	11.1	化学工業	12,232	8.7	鉄鋼業	18,396	13.0	化学工業	20,605	13.5
5	化学工業	8,343	7.5	化学工業	12,548	8.1	鉄鋼業	11,380	8.1	化学工業	16,273	11.5	鉄鋼業	16,733	11.0

（注）産業中分類は、各年時点の表記・定義による。

（資料）兵庫県「工業統計調査」、経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

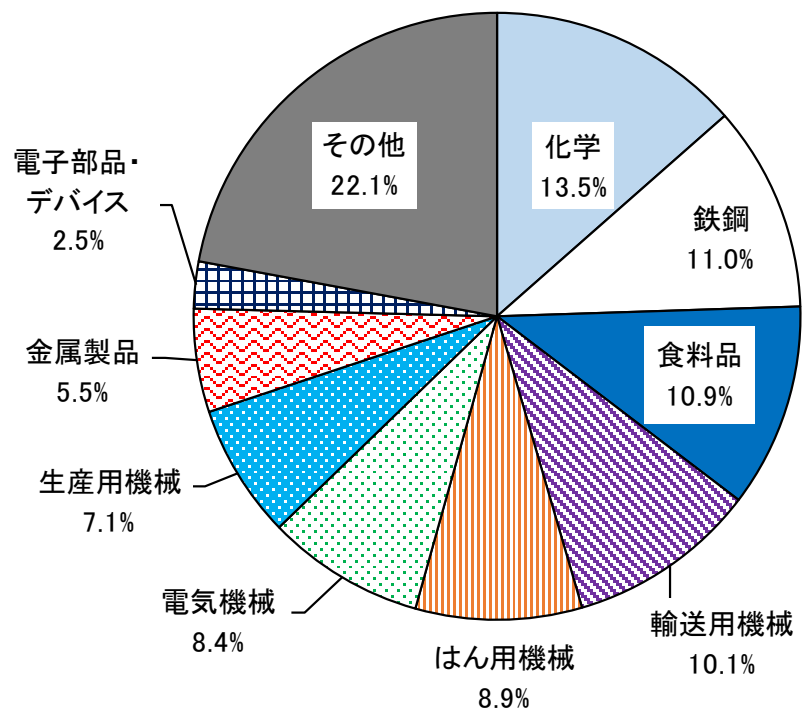
## Ⅱ. 産業

### (1-1) 製造業の概要 (続き)

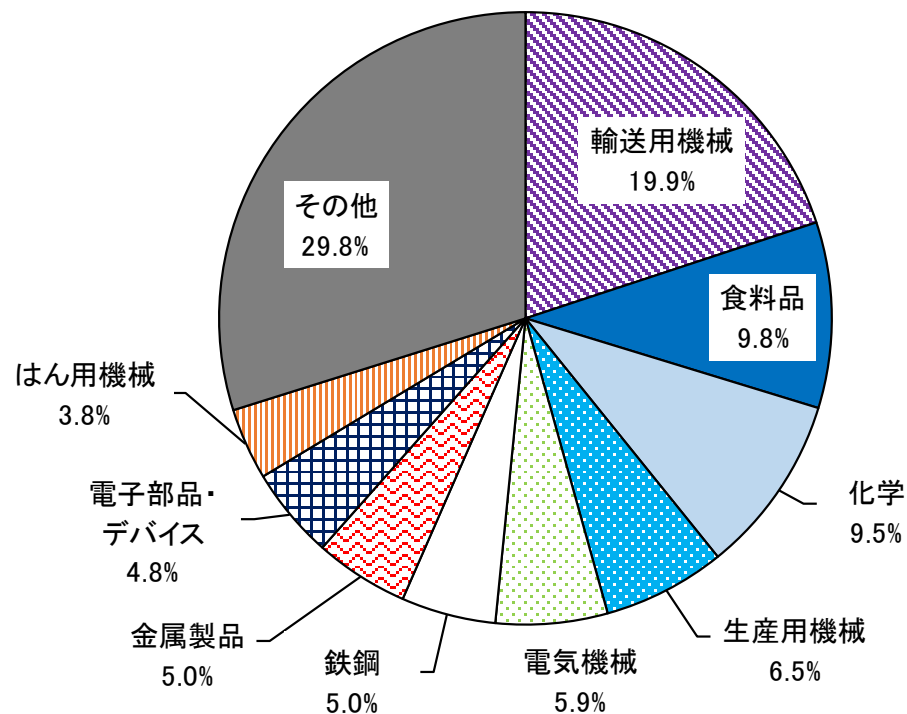
- 兵庫県の製造品出荷額等は、全国と比べて、業種間のバランスがとれているのが特徴。
  - 全国対比では、輸送用機械のウエイトが低い一方、化学や鉄鋼、食料品、はん用機械等のウエイトが高い。

#### ▽製造品出荷額等の業種別構成比 (2020年)

【兵庫県 (15.2兆円)】



【全国 (302兆円)】

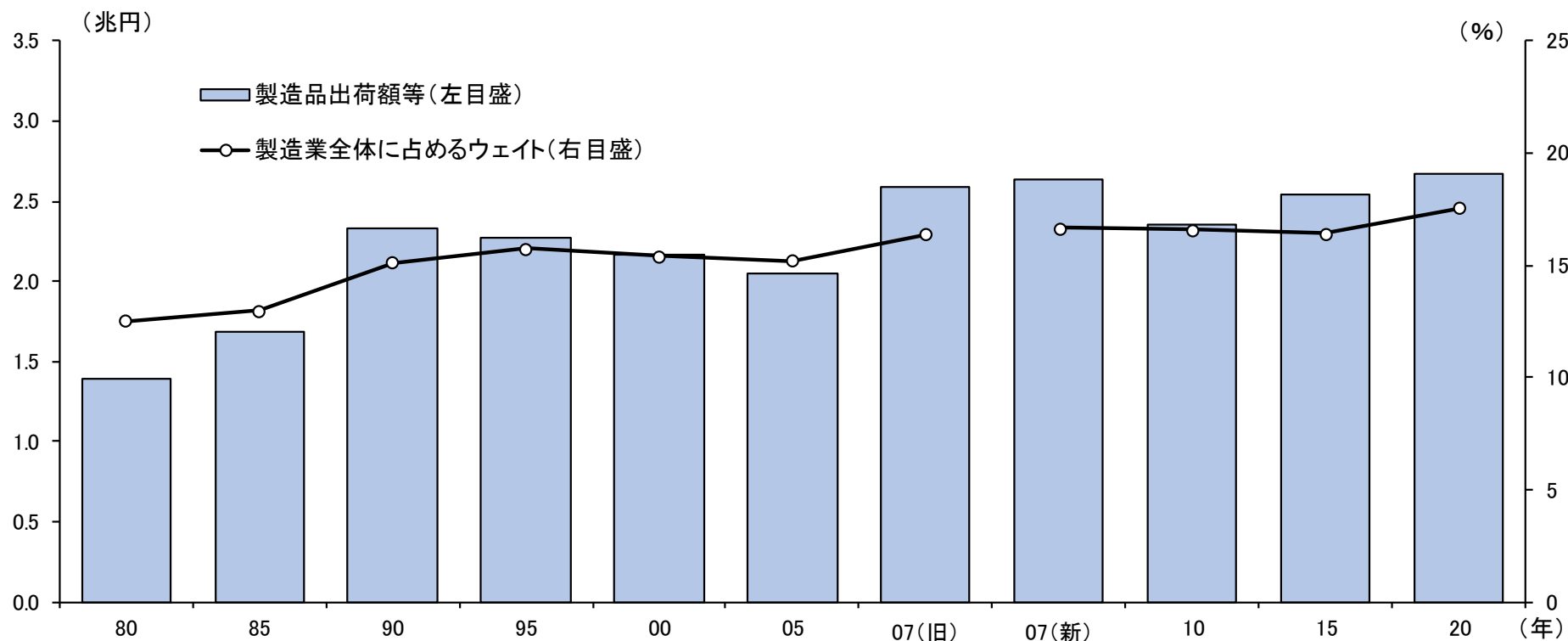


### (1-2) 同・業種別 ①はん用・生産用・業務用機械器具製造業

▶ 兵庫県の製造品出荷額等におけるはん用・生産用・業務用機械器具製造業のウエイトは、1980年には12.5%であったが、2020年には17.5%となっている。

—— 2020年の製造品出荷額等の大きい業種をみると、「建設機械・鉱山機械製造業」、「蒸気機関・タービン・水カタービン製造業（船用を除く）」、「その他の原動機製造業」の順。

#### ▽県内におけるはん用・生産用・業務用機械器具製造業<sup>(注)</sup>の製造品出荷額等の推移



(注) 2007年(旧基準)以前は「一般機械器具」の計数を使用。

(資料) 兵庫県「工業統計調査」、経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

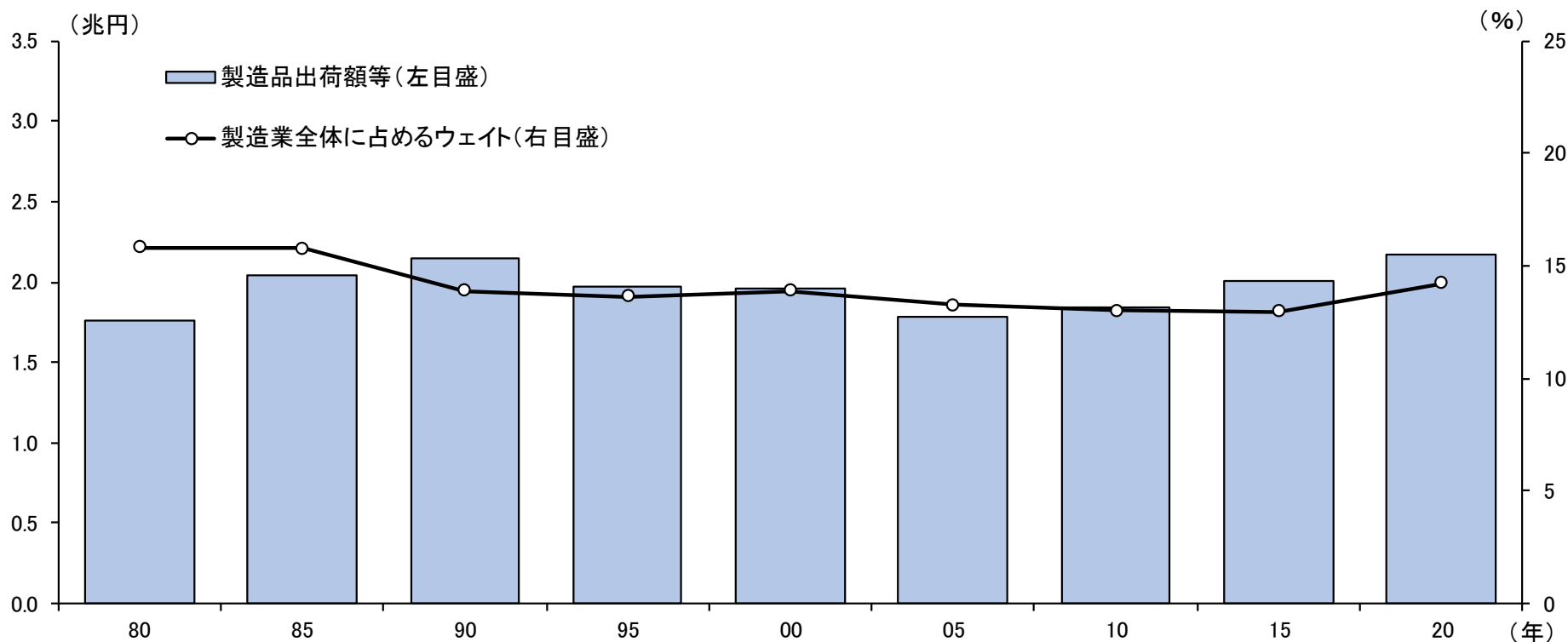
## Ⅱ. 産業

### (1-2) 同・業種別 ②食料品・飲料等製造業

➤ 兵庫県の製造品出荷額等における食料品・飲料等製造業のウエイトは、1980年には15.8%であったが、2020年には14.2%となっている。

—— 2020年の製造品出荷額等の大きい業種をみると、「清涼飲料製造業」、「他に分類されない食料品製造業」、「そう(惣)菜製造業」の順。

#### ▽県内における食料品・飲料等製造業(注)の製造品出荷額等の推移



(注)1985年以降は過去の調査と定義を合わせるため、「食料品」に「飲料・たばこ・飼料」を加えた計数。

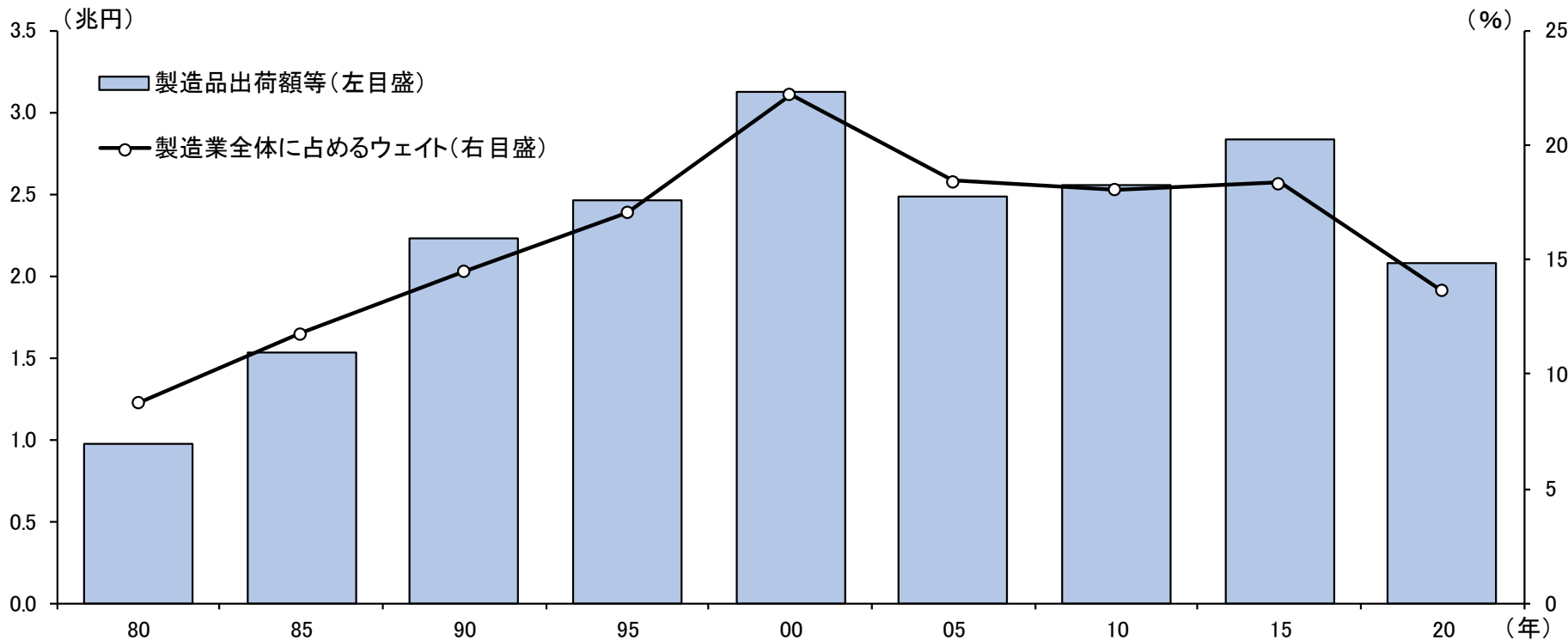
(資料)兵庫県「工業統計調査」、経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

### (1-2) 同・業種別 ③電気機械等製造業

➤ 兵庫県の製造品出荷額等における電気機械等製造業のウエイトは、1980年には8.8%であったが、2020年には13.7%となっている。

—— 2020年の製造品出荷額等の大きい業種をみると、「内燃機関電装品製造業」、「発電機・電動機・その他の回転電気機械製造業」、「無線通信機械器具製造業」の順。

#### ▽県内における電気機械等製造業(注)の製造品出荷額等の推移



(注) 2005年以降は過去の調査と定義を合わせるため、「電気機械器具」に「情報通信機械器具」、「電子部品・デバイス・電子回路」を加えた計数。

(資料) 兵庫県「工業統計調査」、経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

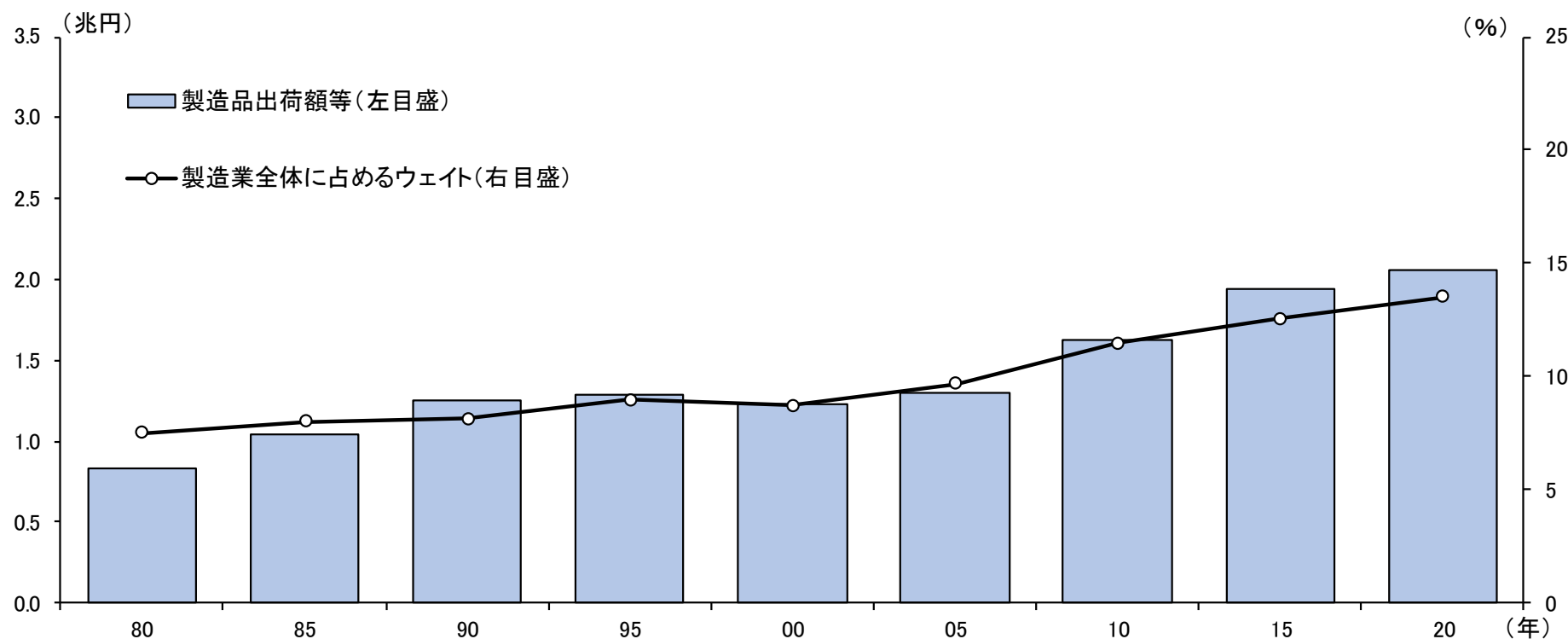
## Ⅱ. 産業

### (1-2) 同・業種別 ④化学工業

➤ 兵庫県の製造品出荷額等における化学工業のウエイトは、1980年には7.5%であったが、2020年には13.5%となっている。

—— 2020年の製造品出荷額等の大きい業種をみると、「医薬品製剤製造業」、「プラスチック製造業」、「塗料製造業」の順。

#### ▽県内における化学工業の製造品出荷額等の推移



(資料) 兵庫県「工業統計調査」、経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

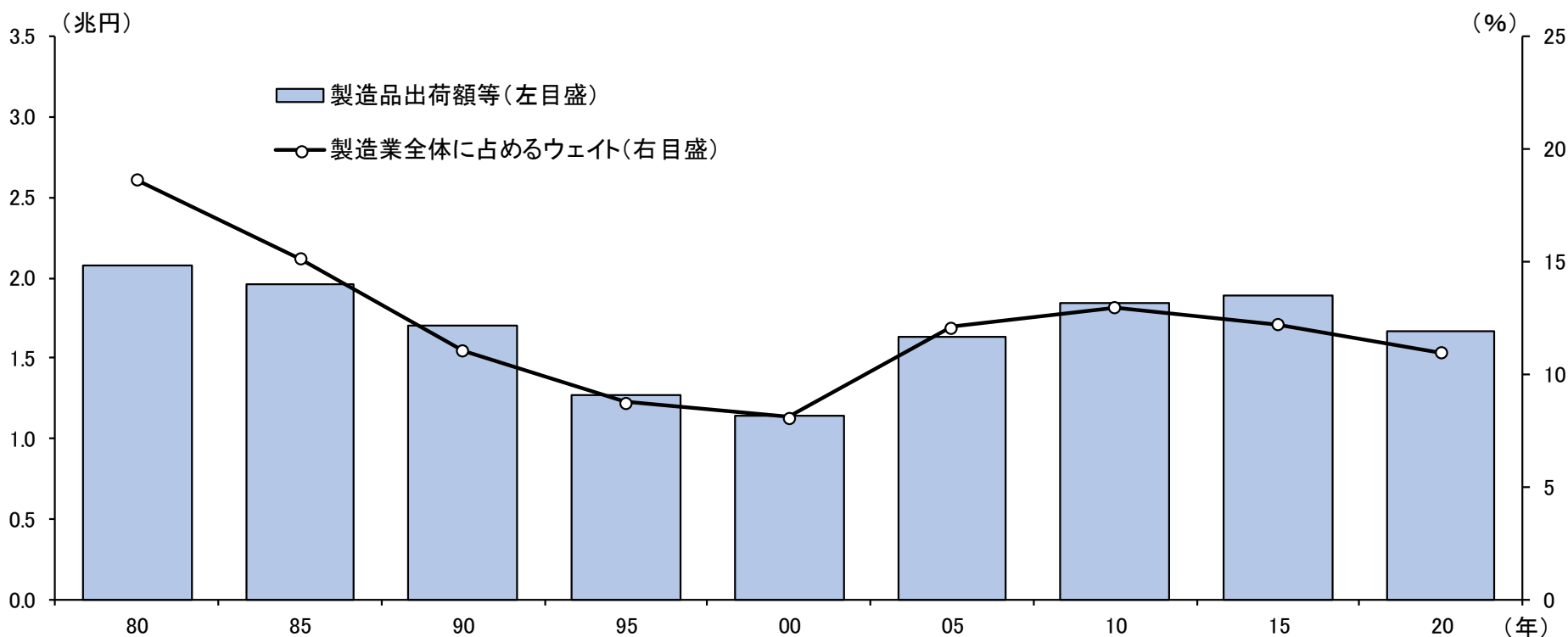
## Ⅱ. 産業

### (1-2) 同・業種別 ⑤鉄鋼業

➤ 兵庫県の製造品出荷額等における鉄鋼業のウエイトは、1980年には18.7%であったが、2020年には11.0%となっている。

—— 2020年の製造品出荷額等の大きい業種をみると、「製鋼・製鋼圧延業」、「伸線業」、「鉄鋼シャースリット業」の順。

#### ▽県内における鉄鋼業の製造品出荷額等の推移



(資料) 兵庫県「工業統計調査」、経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

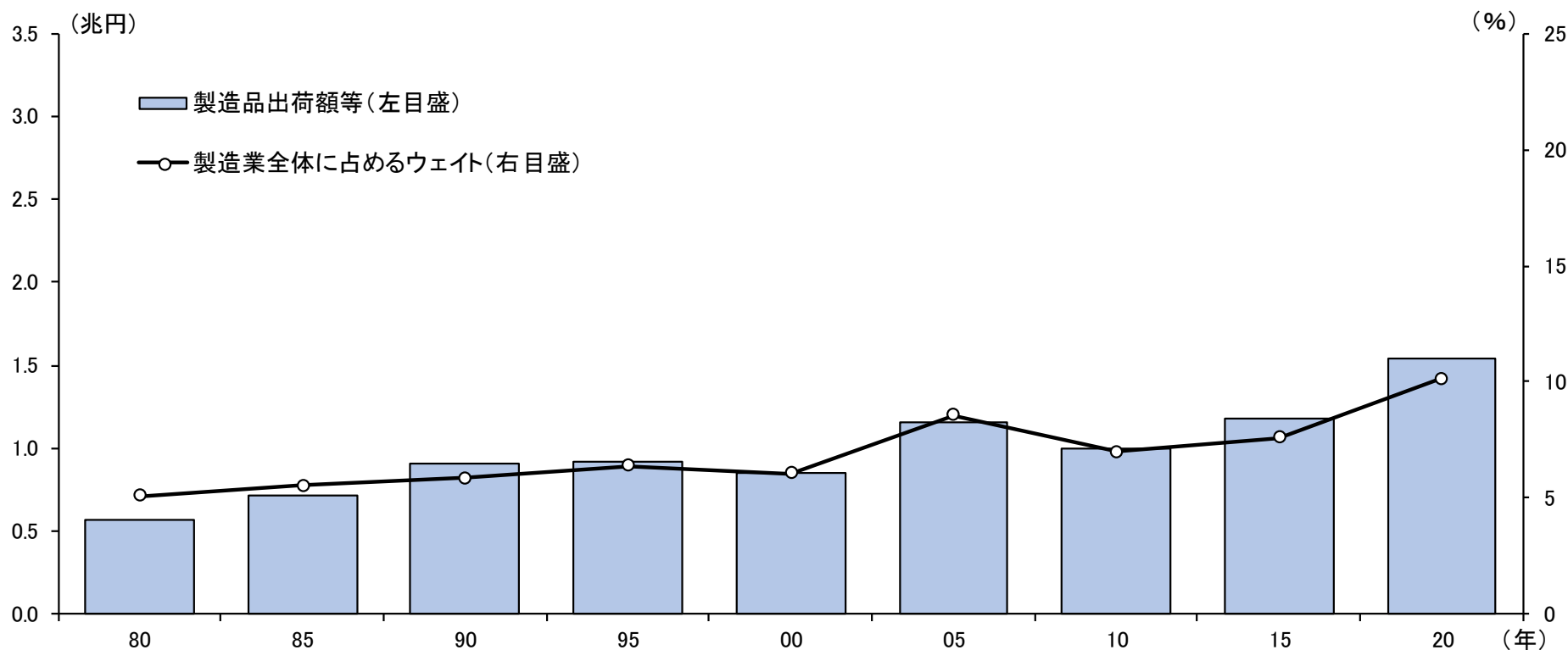


### (1-2) 同・業種別 ⑥輸送用機械器具製造業

➤ 兵庫県の製造品出荷額等における輸送用機械器具製造業のウエイトは、1980年には5.1%であったが、2020年には10.1%となっている。

—— 2020年の製造品出荷額等の大きい業種をみると、「自動車製造業（二輪自動車を含む）」、「自動車部分品・附属品製造業」、「船舶製造・修理業」の順。

#### ▽県内における輸送用機械器具製造業の製造品出荷額等の推移

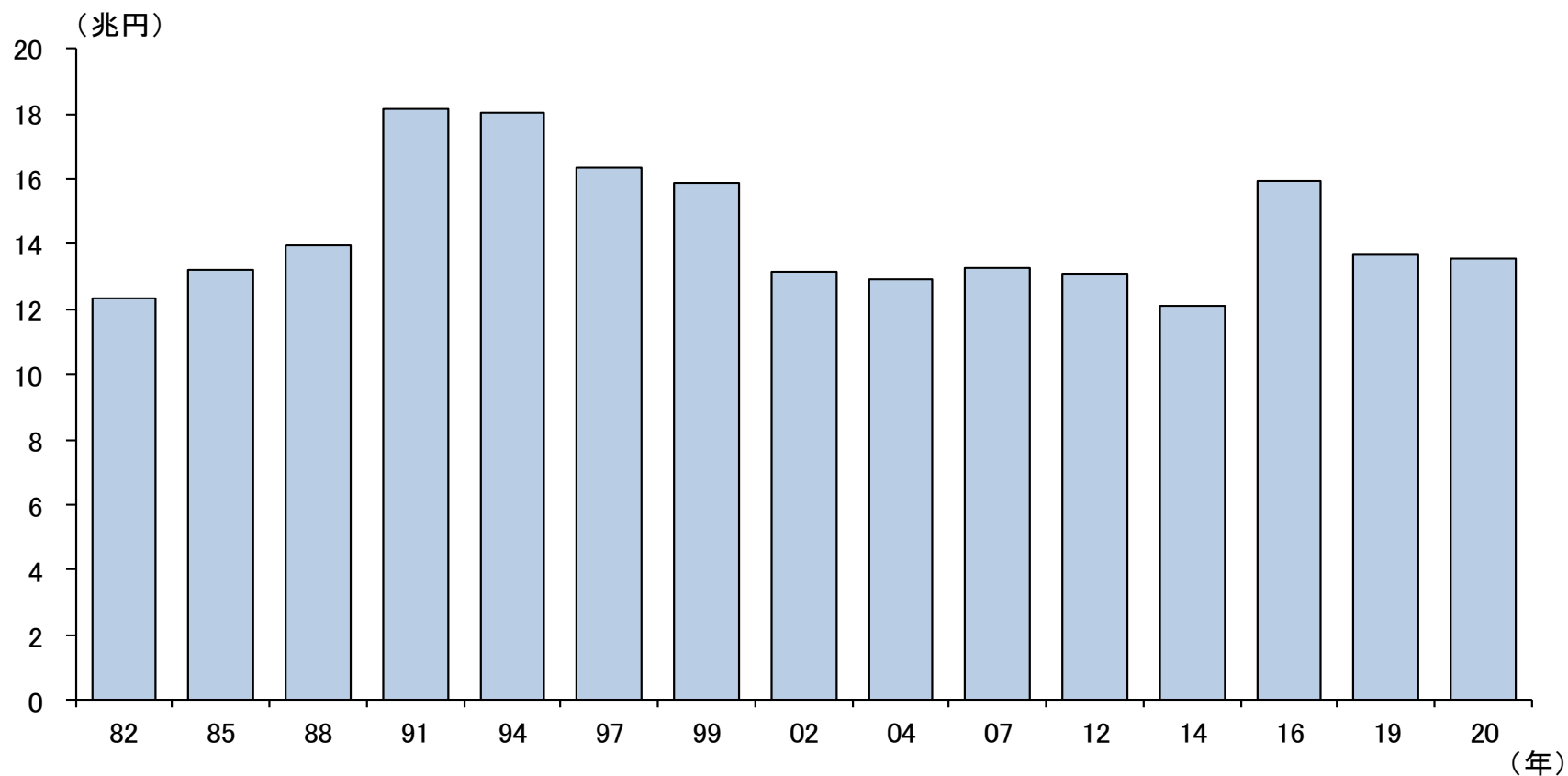


(資料) 兵庫県「工業統計調査」、経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

### (2) 商業等 ①商業

- 年間商品販売額は、1991年をピークに減少傾向を辿っていたが、2002年以降は概ね横這い圏内で推移している。

▽県内における年間商品販売額の推移



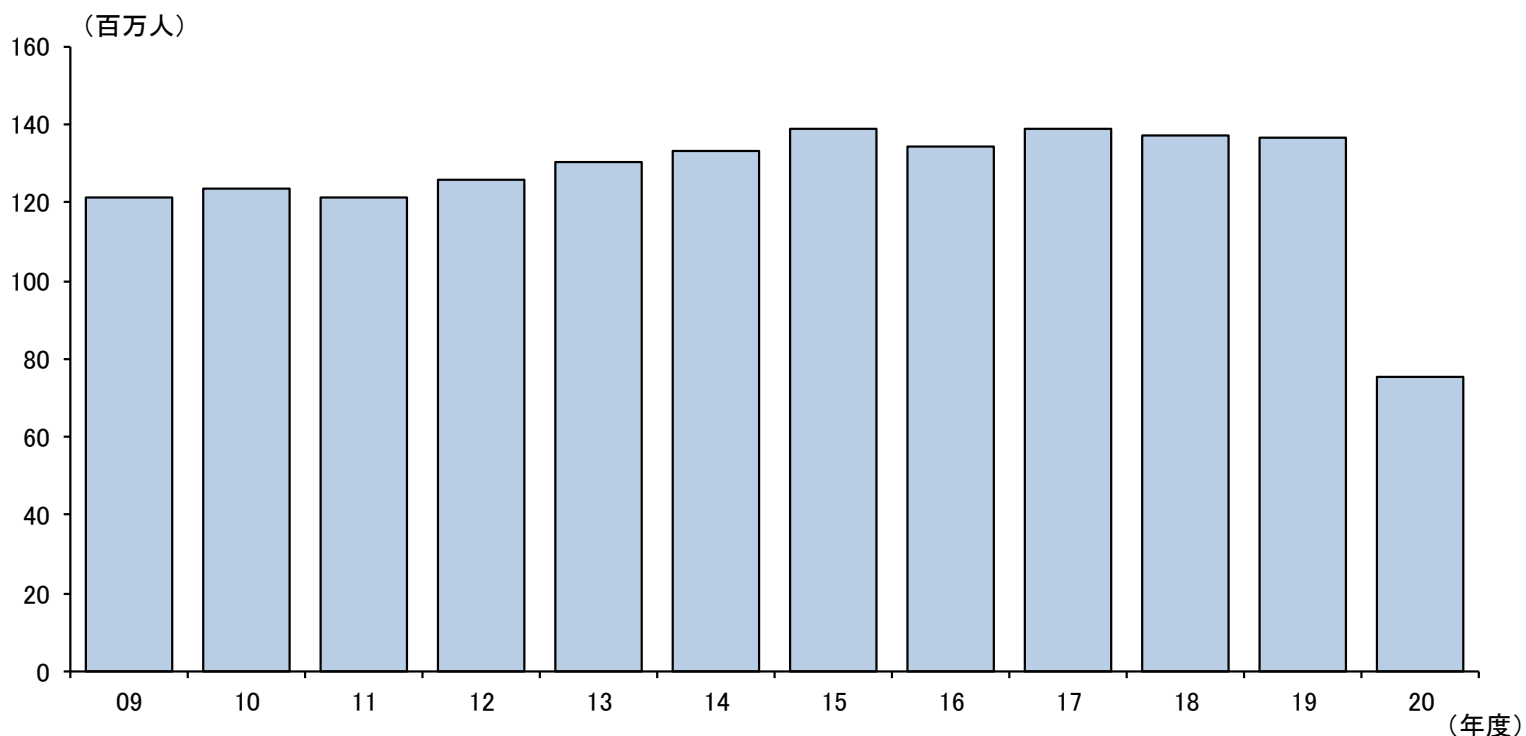
(注) 2019年以降は、経済構造実態調査ベース。

(資料) 経済産業省「商業統計調査」、「経済センサス-活動調査」、「経済構造実態調査」

### (2) 商業等 ②観光

- 兵庫県では、県外客や外国人観光客の誘客、コンベンションやクルーズ船の誘致等、産官による観光振興の積極的な取り組みが行われており、県内観光施設への入込み客数は増加傾向にあった。
- もっとも、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から大幅に減少した。

▽県内観光入込客数の推移



(資料)兵庫県「観光客動態調査」

### (3) 地場産業

- 県内には、いわゆる地場産業が約40業種集積している。特に、清酒、皮革、手延素麺、かばん、線香、釣針等は全国トップシェアを誇るほか、ケミカルシューズや播州織、三木金物（利器工匠具）、淡路瓦等が全国的に著名な産地として知られている。

#### ▽兵庫県の地場産業の概要

地場産業	概要
豊岡のかばん	江戸時代に豊岡地方で生まれた伝統工芸の柳行李（やなぎごおり）が起源。戦後は、マシン縫製の導入や合成皮革・ナイロンの活用など、様々な取組みが行われた。この間、豊岡鞆の地域ブランド化にも注力した結果、2006年に特許庁において、「豊岡鞆」地域ブランドが商標登録された。
播州織	江戸時代に京都西陣から技術を導入したことが始まりと伝えられ、現在の西脇市を中心に北播磨地域の地場産業として発展。播州織の最大の特徴は、糸を先に各種の色に染めてから色々な模様にはり上げること。
ケミカルシューズ	1952年頃、ゴム靴工業を母体として、神戸市長田区で誕生。1995年の阪神・淡路大震災では深刻な被害を受けたが、現在では、皮革を含む様々な材料でファッション性豊かな靴を製造。また、「神戸シューズブランド化事業」の立ち上げや、百貨店とのコラボレーションなど様々な取組みが行われている。
真珠の加工業	昭和初期頃、神戸を中心に発達。神戸は、古くから輸出港として栄えた神戸港があるほか、三重県や愛媛県、長崎県、熊本県等の西日本の真珠養殖地の中間地に位置することなどから、真珠加工メーカーが集積。
淡路瓦	日本三大瓦産地の一つである淡路島で生産。淡路瓦の代表である「いぶし瓦」は、瓦表面をいぶす「燻化」と呼ばれる工程を施すことで、淡い銀調の色艶を持たせたもの。淡路島では、古くから瓦の製造に欠かせない良質の粘土が豊富に産出されている。
淡路線香	江戸時代末期に堺（現在の大阪府）から線香の製造を学び、阿波（現在の徳島県）から原料の杉葉粉を運んで生産を始めたのが起源とされる。最近では、洋風のアロマ線香などの生産にも注力している。
三木金物	三木市において、「のこぎり」や「のみ」、「かんな」等の伝統的ツールを中心に生産されており、その起源は、安土桃山時代に豊臣秀吉の手厚い保護の下、全国から多くの大工や鍛冶屋が集められたことが始まりとされる。
清酒	六甲山南側一帯のいわゆる「灘五郷」*を中心に、江戸時代から生産されており、同地域は、国内最大の清酒産地となっている。 *「灘五郷」とは、今津郷、西宮郷、魚崎郷、御影郷、西郷からなる西宮市から神戸市灘区に至る12km程度の沿岸の総称。この地域で酒造業が発達した理由としては、①宮水と称される良質の硬水に恵まれていること、②酒造に適した播磨米の産地が近いこと、③交通至便で大消費地にも隣接していること、④丹波杜氏の酒造技術が優秀であること、などが挙げられる。
手延素麺	良質な水と小麦に恵まれた西播磨地域を中心に、江戸時代から農家の副業として本格的に生産されてきた。

## (1) 地元銀行・信用金庫の歴史

- 県内に本店を置く地方銀行、第二地方銀行、信用金庫は13行庫。
- 地方銀行は、豊岡市に本店を置く但馬銀行、第二地方銀行は、1999年に阪神銀行とみどり銀行が合併し誕生したみなと銀行のそれぞれ1行ずつ。
- 信用金庫は11金庫と、東京都（23金庫）、北海道（20金庫）、愛知県（15金庫）に次いで、全国で4番目に多い。
- なお、「一県一行主義」政策の下、1936年に地元7行が合併し設立された旧神戸銀行は、その後の3度の合併により、現在は三井住友銀行となっている。

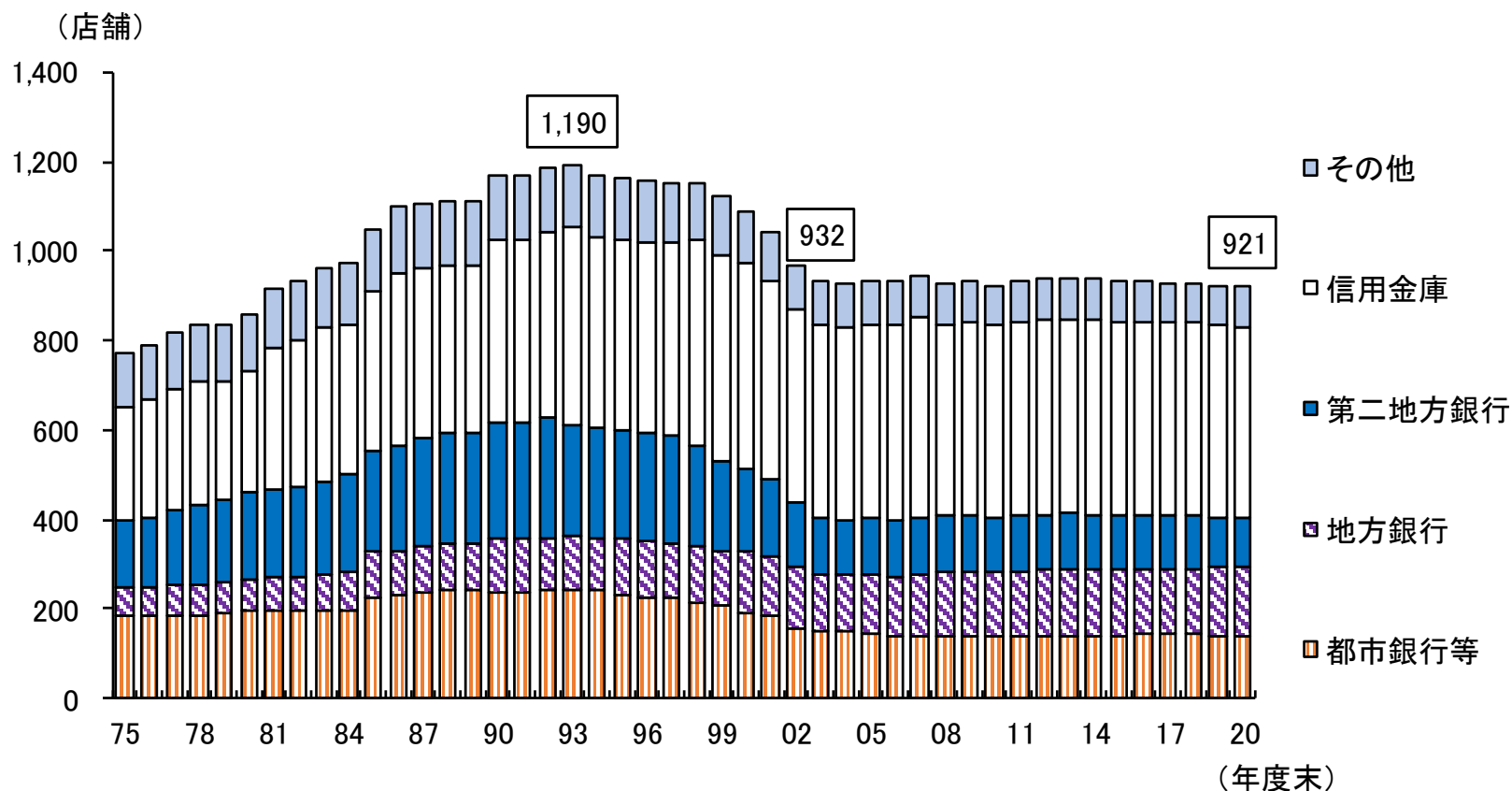
### ▽1990年以降の地元銀行・信用金庫の変遷

1990年	太陽神戸三井銀行が設立（太陽神戸銀行＋三井銀行、1992年にさくら銀行に改称）
1994年	関西信用金庫と西宮信用金庫が合併（関西西宮信用金庫に改称）
1995年	兵庫銀行が経営破綻、みどり銀行が設立
1999年	みなと銀行が設立（阪神銀行＋みどり銀行）
2001年	三井住友銀行が設立（さくら銀行＋住友銀行）
2001年	関西西宮信用金庫が経営破綻（神戸、姫路、兵庫、尼崎の各信用金庫へ事業譲渡）
2002年	神栄信用金庫が経営破綻（日新信用金庫へ事業譲渡）
2018年	みなと銀行が関西みらいフィナンシャルグループの完全子会社化
2021年	関西みらいフィナンシャルグループがりそなホールディングスの完全子会社化

(2) 金融機関店舗数

➤ 県内の金融機関店舗数は、1993年度末をピークに減少傾向にあったが、2003年度以降、概ね横這いで推移している。

▽業態別金融機関店舗数



(注)「その他」は、信用組合、商工組合中央金庫、労働金庫、日本政策金融公庫。  
 (資料)兵庫県「兵庫県統計書」

(3) 預貯金・貸出金シェア

- 県内の預貯金・貸出金シェアをみると、預貯金・貸出金ともに全国よりも「国内銀行」のシェアが低い一方、「信用金庫」、「その他」等のシェアが高い。

▽県内の預貯金・貸出金シェア（2022年3月末）

(億円、%)

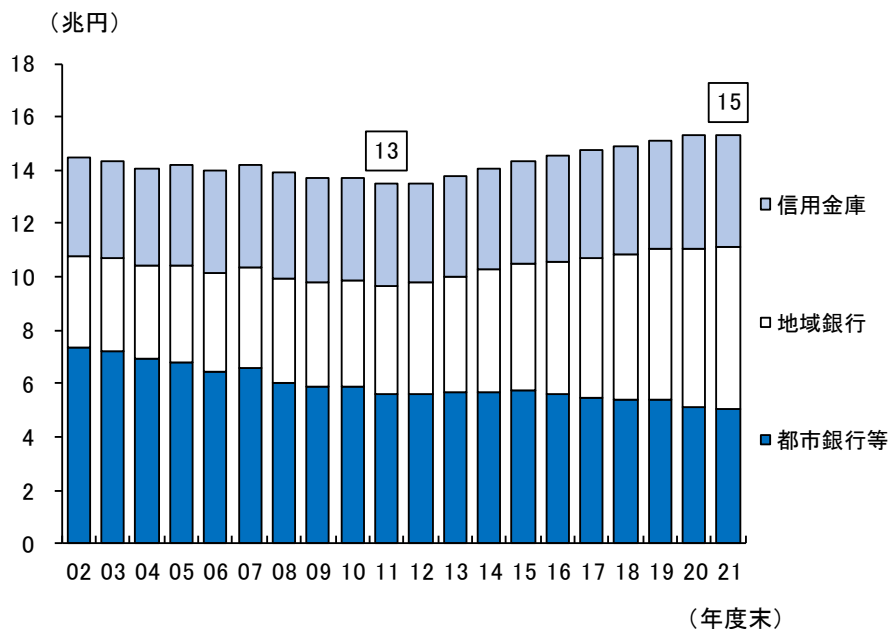
	預貯金	構 成 比		貸出金	構 成 比	
		兵 庫 県	全 国		兵 庫 県	全 国
国 内 銀 行	268,793	50.7	65.7	110,902	63.4	81.1
都市銀行等	195,242	36.8	38.4	48,060	27.5	39.3
地方銀行	34,655	6.5	22.5	36,052	20.6	34.3
第二地方銀行	38,896	7.3	4.8	26,790	15.3	7.6
信 用 金 庫	95,438	18.0	11.0	42,167	24.1	11.5
信 用 組 合	14,292	2.7	1.6	6,128	3.5	1.9
そ の 他	151,524	28.6	21.7	15,732	9.0	5.5
農業協同組合	63,881	12.1	7.5	12,165	7.0	3.3
合 計	530,047	100.0	100.0	174,929	100.0	100.0

(注) 1. 「その他」は、労働金庫、農業協同組合、ゆうちょ銀行。  
 2. 預貸金計数は、国内銀行勘定のみ(預金は原則、譲渡性預金を含む)。  
 (資料) 金融ジャーナル「金融マップ2023年版」

(4) 預金・貸出金動向

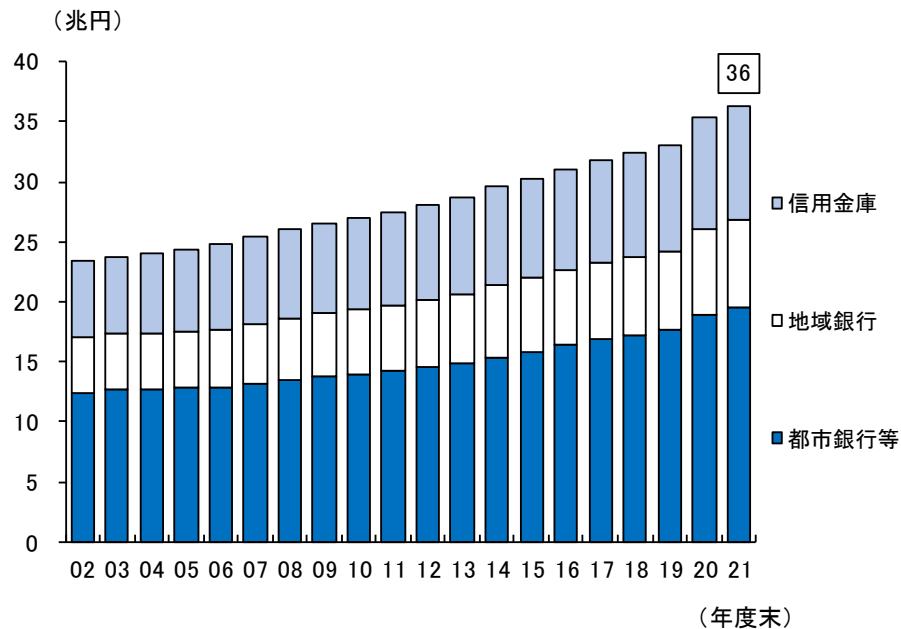
- 県内の貸出金末残は、2011年度末を直近ボトムに、増加が続いている。
- 県内の預金末残（実質預金末残）は、増加が続いている。

▽業態別の貸出金（末残）の推移



(注) 合併・事業譲渡等による業態間の計数移動等の調整は未実施。  
 (資料) 日本銀行神戸支店

▽業態別の預金（末残）の推移



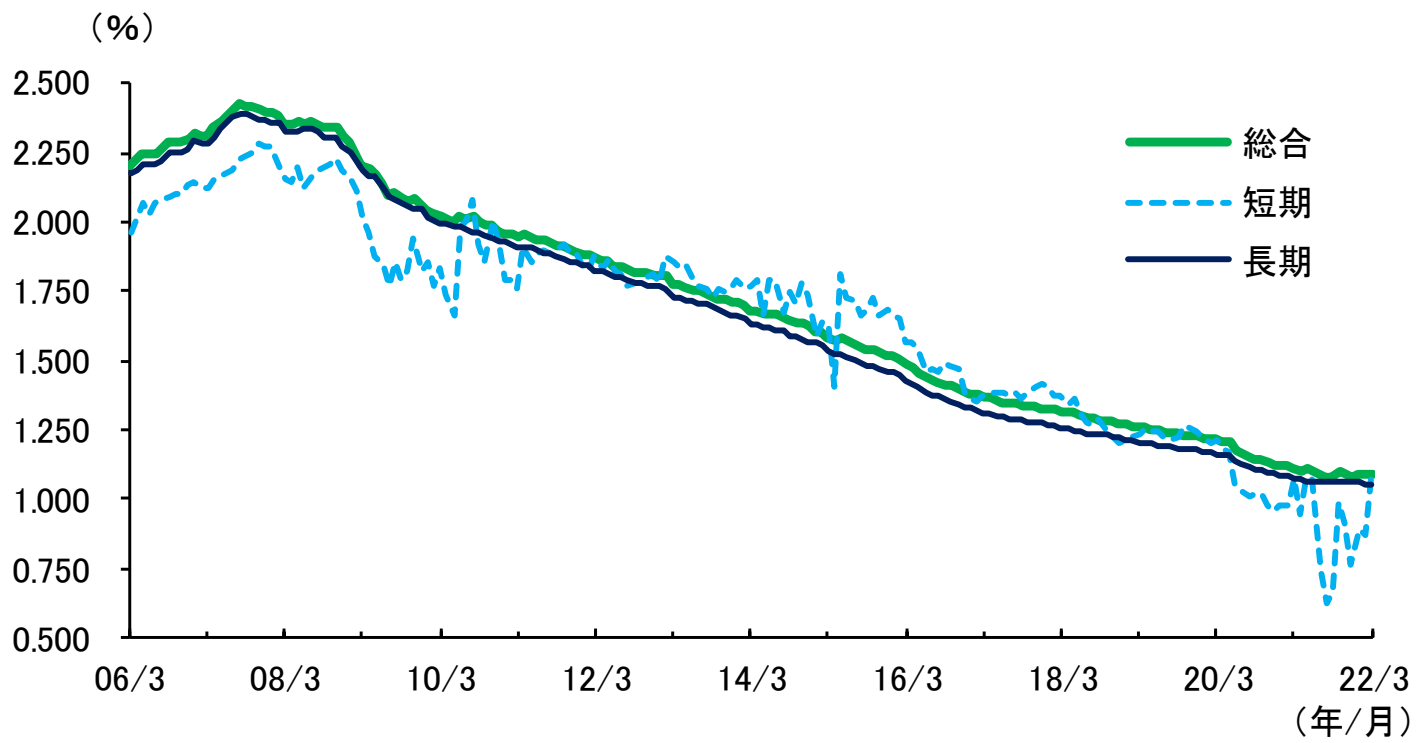
(注) 合併・事業譲渡等による業態間の計数移動等の調整は未実施。  
 (資料) 日本銀行神戸支店



(5) 貸出約定平均金利

➤ 貸出約定平均金利は、2007年末頃をピークに低下に転じた後、最近は概ね横ばいで推移している。

▽貸出約定平均金利（ストックベース）



(資料) 日本銀行神戸支店